

昭和60年を 地域福祉時代の幕あけに

橋本 明 (社団法人「家庭養護促進協会」事務局長)

「自分は齢をとっても老人ホームには入りたくない」とか、障害児をもつ親が「この子は施設には入れたくない」と考える人は多い。

福祉施設というのはあまり明るいイメージをもたれていないことにもよるのだろうが、それよりも老人は自分の家や長い間住みなれた地域で暮らしていきたいと願っている、障害児の親もできる限りは自分の手で子どもを育てていきたい

と思うのは当然のことであろう。しかしながら、そういう願いがかなえられないことが多いのが日本の現状である。

今日の老人や病人は人生の最後のときをほとんど病院

地域の集会所で給食サービスを楽しむひと暮らしの人たち(長田区)

で過ごし、「タタミの上で死にたい」という最後の思いもなかなか覚えてもらえなくなってきた。

戦後三十数年の間にわが国では福祉に関する法律がいろいろ制定され、制度もととのってきた。それと同時に家族の機能が弱くなり、近隣の相互扶助の力も弱くなってきたといわれる。今までの福祉の施策は次々と新しい施設をつくることに重点がおかれてきたこともあり、施設の数もかなり増えてはきている。今までは生活上の問題をかかえている人は施設に入所させることで問題を解決しようという方向に重点がおかれてきたようであったが、今日では福祉の対象者や考え方がずいぶんと変化してきている。

昭和40年代に入って高度経済成長に伴う地域のさまざまな生活、環境問題が次々と表面にあらわれ、多くの住民運動が生まれたが、福祉の考え方もその対象を一部の人々に限定してとらえず、広くすべての市民として考え、一人ひとりの人間の生活全体に目を向けていくようになってきた。とくに昭和56年の国際障害者年で「ノーマライゼーション」という言葉がよくつかわれたが、これは障害者を特別扱いするのではなく、そのような人々が地域において自立し、普通の生活ができるための条件づくりをしていくことであり、障害者だけでなく、子どもや老人なども含めてすべての市民についても共通のこととして考えられなければならないことである。

「一人ひとりの市民が地域で生活ができる条件を整えていく」ことが求められるようになってきたために、昨年の秋、神戸市市民福祉調査委員会は「神戸市における地域福祉のあり方と推進体制について」という意見具申を市長に提出した。

今までの福祉がとすれば施設中心主義であり、入所施設などは特に閉鎖的で、地域住民とのかわりあはあまりなく、地域から隔離し、孤立していたようだが、この報告書は新しい地域福祉の時代を迎えて施設中心主義を反省し、これからの基本的な福祉の在り方を方向づけたものである。

人々が日常生活を営む地域社会はすべての市民にとってもっとも基本的な身近な生活の場であり、家庭のなかで家族が共に暮らしているようにするために、家庭での福祉機能を生かし、サービスをすすめていく「在宅福祉」が大切に考えられるようになってきた。今日までも友愛訪問活動、給食サービス、入浴サービス、ホームヘルパーなどの在宅福祉を支える活動が行われてきたがまだ十分なものではない。家族や近隣の相互扶助が弱くなっているために、すべての生活上の問題を在宅福祉サービスで解決することはできないが、地域のいろいろな福祉施設や病院、公私の福祉機関、専門家、ボランティアなどがそれぞれの役割を生かし、機能を補完し合いながら市民が自分の住んでいる地域で問題を解決し、暮らしているような福祉のあり方が望ましいと考えられるようになってきた。意見具申のなかでは地域のさまざまなサービス活動が孤立したり重複したりしないように各行政区単位で「市民福祉ネットワークセンター」などの設置

も提唱されている。その他、新しい地域福祉、在宅福祉をすすめるために、市民のすべてが福祉への意識を高めるために生涯にわたる福祉教育の必要性、事業者の役割（障害者雇用への積極的な取り組み、事業者所有の施設の地域への開放など）、行政機能の充実、福祉情報システムの導入などが今後の課題として提案されている。

人は一生の間にさまざまな困難に出会う。それは自分の努力や工夫で切り抜かれるものもあれば、自分や家族の努力、援助だけではどうにもならないものもある。個人や家族での問題解決の不可能なものは近隣や専門家、公私の医療、福祉サービスなどの援助をうけることになるが、そのときに、自分はこのでこんな治療を受けたい、こんな福祉サービスをしてほしいと思ったときに、その選択ができる限り認められ、可能となるような社会が望ましい。昭和60年は地域において多様な福祉サービスが花開き、いざ困ったというときにも市民が主体性と尊厳をもちながら地域で暮らしているような時代の幕あけとなつてほしい。



(写真/上) 施設入所者と地域の人たちとの交流会(須磨区)
(写真/下) 共同作業所で働く障害者と母親たち(灘区)



■フレッシユ神戸キャンペーン(第2回)
座談会(神戸駅前のショッピングゾーンを考える)

遊びのある空間づくりで 独自の生活文化の提供を

□出席者□

森本 泰好(神戸地下街開発専務)
並河 要(神戸高速興業副営務)
菊水 啓輔(サンこうべ名店会会長)
山本 義一(ハメトロこうべ名店会会長)
高村 弘而(ハチサンホテル神戸店長)

前回11月号「サンこうべ10周年記念リフレッシュオープン座談会」にひきつづき、今回は、「神戸駅前のショッピングゾーンを考える」と題して、サンこうべ、メトロこうべの2つのショッピング街の活性化にとりくんでおられる方々にお集まりいただき、夢のある自由なお話を伺いました。

★メトロこうべに地下公園を

並河 メトロこうべは、神戸高速鉄道が私鉄4社相乗入れとして生まれた折り、当初は地下2階部分埋め戻す予定でいたものを、地域文化のためにと、地下商店街に計画変更されて、昭和43年の9月に

発足しました。現在、17年目に入り、63年の20周年記念のリフレッシュをめざして、さまざまなアイデア、プランを検討中です。当社としては、昨年9月のサンこうべリフレッシュオープンにみならつてメトロこうべもリフレッシュしなければいけないと感じています。森本 高速神戸が開通して、国鉄とバスターミナルの3つの交通機関をつなぐ地下街づくりをと、神戸市の要請があり、10年前にサン

こうべが誕生したわけですから、

これによってメトロこうべとサンこうべの2つのショッピングゾーンが東西南北につながりました。

三宮のさんちかタウンは20年でリポーンしますが、地下街はどこで

工事しても同じだけの費用がかかるのに、営業立地は三宮と神戸駅前とは全然違うわけです。しかし、完成後、予想以上にうまくいったのでひとまず胸をなでおろしましたね。社会情勢も当時の高度

成長から、安定成長へと変り、時代に対応しながら、地域へ溶けこんでいく努力を惜しまないで、つまり利益追求の上でその余剰を地域社会へ還元していこうと。その

現われが快適で便利な憩いの空間づくりであり、9月に生まれかわったカスケードひろばなんです。

山本 メトロこうべのリフレッシュには、サンこうべのような若い夢のあるアイデアがぜひともほしいですね。昨年より、私どもで

「心暖まる街づくり」キャンペーン



並河要さん



森本泰好さん

ンを実行しています。メトロこうべは全部で70店舗あり、まずは全体の連帯感づくりが大切だと考えてテナントの方々にも声をかけて一丸となってよりよい街づくりをと案を練り始めています。例えばメトロこうべは地下街なのにエスカレーターがありませんし、その他大がかりな設備や広場づくりができれば、お客様に楽しんで頂きながらショッピングができますね並河 新開地との中間通路を臨時的に卓球場としていますが、以前宮崎会長（神戸市長）に「メトロこうべに、日本にも世界にもない地下公園を創ってほしい」とお願いしたことがあります。今、地下道にある柱を樹脂化工して本物そっくりの太木に創りかえ、壁面は神戸の山と海の大パネルを貼る、すると山へいかなくてもメトロこうべにいけば「神戸全景」が見れるんです。宮崎会長は「面白いアイデアだ」と言って頂き、大変興味はもって下さったけれど、当社でやろう／とは言われなかった。いずれ、鉄道の協力もえて当社でやろうということになれば20周年には遊歩道的なものを実現したいと思っています。

★「生活文化」を提供しよう！

菊水 サンこうべの成功の裏にはメトロこうべの積み重ねがあった



高村弘而さん

山本載一さん

菊水啓輔さん

からと、テナント各店の努力が実ったのだと考えています。当時オーブンしてみても、私はこんなに人材が多かったのかとびっくりしたことが強い印象となっています。それに私はずっと神戸駅前に住んでいて、駅前のタテの線とヨコの線が歴然と異なると感じているんです。この2つのショッピングゾーンをつなぐ最適のポイントとして、チサンホテルが頑張ってくれていて私も有難いなあとと思っています。

高村 営業させて頂いて1年半になり、この間色んなことを勉強さ

せて頂きました。当初はどう運営していこうかと迷いもありましたが、泊るだけのものではなく、文化的要素を加えて地元地域に密着していくことが大切と考えています菊水 チサンホテルの土地が空地だった当時、地元の人がみんなこの土地に何を創ろうか話しあい地主の住友生命さんにもお願いして生れたんです。いわば地元が夢みて実ったホテルです。だから誇りのような気分ですよ。

高村 おかげさまで、チサンホテルから文化ホールへ、あるいは地下街へとショッピングに出られる人も多く、歌舞伎など出演者の方々は毎年ご利用頂いております。山本 チサンホテル進出によってメトロこうべもずいぶんイメージアップでき、さらに昨年10月には新開地の街づくり協議会ができ、大いに期待できますね。

森本 神戸駅前にはまだまだ三宮にない遊びの空間づくりの余地があります。これからの商店街は商品だけでなく生活文化を提供しなければなりません。また、メトロこうべ、サンこうべそれぞれ画一化せず異質の個性の集積であるべきだと思います。神戸駅南側のハーバランド構想についても元町側と地元からどんなアイデアを出して本当に素晴らしいものになりたいですね。（チサンホテルにて）

●兵庫界隈記(45)
第一回常任理事会

大仏っあん再建へ 一歩前進

竹田 龍△兵庫大仏奉賛会事務局▽

十一月七日、オリエンタルホテルにおいて、兵庫大仏再建奉賛会第一回常任理事会が開催されました。

本誌にも再三報道され、既にご承知のことですが、庶民信仰の中心として神戸市民に親しまれ、海外にまでその名を知られた「兵庫の大仏っあん」が、戦時中の「金属回収令」により、市民の哀惜の中供出されましてから四十年になりました。その間何度か再建の話

もありましたが、機未だ熟さず今日に至りました。

最近西神戸の地盤沈下が云々され、兵庫再開発の動きが活発になってまいりますとともに、兵庫のシンボルとして「大仏っあん」を再建しようという声も高まってまいりました。

能福寺におきましても、「心の問題」「心の教育」が忘れられた現今の世相の中に、庶民信仰の中心として、また市民の安らぎの場

として、大仏を再興することとは意義深いことと考え、再建に踏みきることになりました。

庶民信仰を掲げた事業の意義からすれば、多数市民の信仰心に訴え参詣の方々の御寄進を仰ぎ、また写経等布教活動を通して広く浄財を募りますことが本来の姿でございますが、何分にも多額の費用を要します事業でございますので、各界有志の御援助を仰がねばならないのが実情でございます。各神社、仏閣の実例に倣い奉賛会を組織し、事業を推進しますことにいたしました。

檀信徒有志で組織いたしました準備委員会におきましては、奉賛会会則、寄付勸募要項の起草等諸般の準備を進めますとともに、奉



第1回常任理事会にて、杜山悠氏(中央)



西岡氏(左) 滝川勝二氏(中) 金井元彦会長(右)



荒尾親成氏(左) 小泉康夫氏(右)

ORIGINAL
TABI

Tabifuku
タビフク

本店 塚本通3丁目 ☎575-8868
センタープラザ西館2F ☎332-3500
センタープラザ2F ☎332-2767
メトロこうべ・神戸タウン ☎341-0439
さんプラザ3F ☎391-3720

株式会社 タビ福
ローソン柳原店 ☎576-0330

香り一番 味一番
サクリうまい

と いち
一の

奈良漬

**Fish
Foods
Future**

味づくりに生かす
図かねてつ



明るい色と
まろやかな味

新発売 **OMI MILD**

新鮮野菜とワインをベースにした
こんな旨い、色でまろやかな味の
調味料は初めてでした。

オリバー
マイルドソース



世話人 島豊氏(右) 竹田龍氏(中) 小泉達吉氏(左)



川上栄一氏(右) 大坪乙吉氏(中) 雲井世雄氏(左)

賛会結成の際、役員に御就任願う方々に懇請を重ね、昨秋早々地元とは縁の深い金井元彦氏を会長として推戴いたしますことを決議し御内諾をいただきました。

た。(本誌九月号既報) 第一回常任理事会におきましては、金井会長の御挨拶に続き再度この経過を報告し、事業計画の素案及び募金計画の概要を説明し、御了承を得ました。

事業計画概要
大仏尊像 (青銅製 約三
五トン)
御身丈 一〇メートル
蓮台高さ 二・五メートル

基壇建物
(鉄筋コンクリート造 地
上三・五メートル)
一階 永代祠堂
胎内仏を正面に奉祀し、
檀信徒の御希望により大仏
尊像と同型の仏像を壁面に
安置し、願旨に応じ永代回
向します。

地下一階 納骨堂
先祖の御遺骨を奉安し回
向致します。

に募金活動に入りまし

苑内整備
開眼法要

以上総事業費 募金費用
を含め五億円

募金計画概要

一般募金 三億五千万円

檀信徒関係 一億円

納経 冥加金 五千万円

以上 五億円

尚写経活動に關しましては、檀家はもとより商店会有志の御協力を得て、活動の輪を拡げる予定を説明しましたところ、出席役員より書道塾に御賛助を御願ひする方法を提示され、早速関係方面に御依頼に参りました。

最後に大坪乙吉總代(當会常任理事)より、今後の募金活動について御援助をお願いし議事を終了いたしました。時節柄景気は回復の基調にあると言われながらも、実感としては今尚厳しさを痛感いたして居ります。昨今、御無理なお願いと存じますが、「明るい市民生活」の一助にもと願ひいたしております大仏再建に御協力、御支援たまりますようお願い申し上げます。

兵庫大仏再建奉賛会

事務局 担当委員

竹田 龍記

〒652神戸市兵庫区北逆瀬川
一―三九能福寺内



世界の洋酒
世界のワインが
楽しめる

株式
会社

北野商店

本店 兵庫区中道通1丁目4-31
TEL (078) 577-1181~3
山の街店 TEL (078) 581-2377
名谷店 TEL (078) 791-7171~2

慶びの家具



■本店/神戸市 兵庫区塚本通2-1-1
☎ 078 (575) 3120 (代)
■東店/神戸市 兵庫区大開通2-1-2
☎ 078 (576) 0054 (代)

アリスの豆ナッツ



株式 有馬芳香堂
合社

本社・工場 兵庫区下沢通7丁目1番2号
TEL (078) 577-3581
直売店 三宮支店、そごう店、垂水駅
ショッピングセンター、
大丸新長田店(ジョイプラザ)

お好み焼

美丁
Yoshicho

福原金比羅宮西入ル ☎575-7913
平日・PM3~PM10:30
金土日・AM11:30~PM10:30
水曜日定休日

KOBE MODERN CULTURE



古典芸能

★初春を寿ぐ神戸新春能

1月12日(土) 11時、神戸文化ホール(大) 特設能舞台 5,000円
学生1,500円

神戸市が古典芸能の普及をめざして、例年、新春に五流儀殿演の「神戸五流能」を催してきたが、今年は若干趣向を変えて、観世流、室生流の二流のみの能公演となった。



能「景清(かげきよ)」

まず、室生流の関西の重鎮、辰巳孝が「小鍛冶」をめでたく舞い開き、続いて室生流宗家の室生英雄が、「景清」を演ずる。

観世流は宗家の観世元正が「斑女」を笹之伝の小書きで、艶やかな舞を見せてくれる。キリは芸境著しい地元の藤井徳三が「正尊」を舞う。親ゆずりの力のこもった美声の、起請文が聞けるのは、この会の楽しみのひとつとなるだろう。



美術

★山下摩起展—受贈記念—

1月6日(金) 12月5日(日)
神戸市立博物館 4日まで及び月曜休 一般200円 高大生150円 小中生100円

仏画をはじめ、風景や身のまわりの小品を描いたものに、独自の境地を開いた画家・山下摩起。

今回、久子夫人より神戸市立博物館に寄贈されたのを記念して、山下摩起展が開催される。

山下画伯は、有馬出身、京都市立絵画専門学校を卒業後、渡欧、日本画の粹におさまることをせず、新しい表現を常に模索し続けた



「鷺」紙本墨画 昭和36年 (60×80)

昭和35年度朝日賞(文化賞)を受賞した、大阪四天王寺五重塔壁画をはじめ、代表的作品「菩薩坐像」等特に仏画に築いた異色の日本画世界が鑑賞できる。



演劇

★風間杜夫、本格的芝居を神戸で披露

1月19日(土) 18時半 20日(日) 13時半 神戸国際会館 A席4,500円 B席3,000円

「蒲田行進曲」をはじめ映画、テレビで人気沸騰の風間杜夫。



青年南北を演じる

その彼が昭和58年度の紀伊国屋演劇賞を受賞した舞台作品「朝・江戸の酔醒」が神戸に登場。

時は安永九年(一七八〇)

所は江戸。後に『東海道四谷怪談』を書く鶴屋南北の若き姿、狂言作者見習時代の勝俣蔵の青春時代を描く佐藤五月・作、小林裕・演出の五月舎新春公演。共演に茫文雀、林昭夫を迎え如何なる江戸を再現するか青年・鶴屋南北が駆け抜けた江戸の夏を、風間杜夫が、今、神戸の舞台で駆け抜ける。

★真夏座版・別役実の世界
1月22日(火) 18時半 兵庫県民小劇場 1,500円 当日1,600円

旗上げした昭和47年以来連続上演を続けている別役実作品。今回は「天才バカボンのパパなのだ」を上演

「会話が進むうちに、気がついてみると、全員青酸カリを飲んで死んでいた」というストーリー。

舞台とは、ダイナミックな論理がぶつかり合う所、という信条で演出する池田一臣が、赤塚不二夫の漫画キャラクターを借りた別役実作品をいかに、真夏座流に噛み砕き、構成するか。一味違った舞台が、期待できそうである。



真夏座公演のワンシーン

★この公演チケットを二人一組、20組様にプレゼント。希望者は筆書に住所・氏名を明記、神戸っ子編集室に「真夏座の係へ」1/15締切



音楽

★神戸フィル・ウィンナ
ワルツで幕明け

1月13日(日) 14時 神戸文化ホール 1,500円(高校生以下100円) 自由席

今年はいよいよ、ユニバース・アード神戸85の年。神戸で開かれる若人のスポー

ツの祭典を祝して、オーブ
ニングコンサートが催され
る。



坂口菜里



朝比奈千足

などのウインナ・ワルツが
中心。関西を代表するプリ
マドンナ坂口菜里・ソプラ
ノ独唱を迎え、朝日奈千足

ログ
ラムは、
ヨハン・
シュトラ
ウス
フ
ランツ・
レハール

音楽

- ★水澤節子ソプラノ独唱会
ピアノ・田淵幸三
12日(土) 18時半 神戸市立生田
文化会館2Fホール 1500円
★ニュー・イヤークコンサート
世界のボビュラソング
14日(日) 18時半 芦屋ルナホー
ル 2500円
★富本美子ソプラノ・リサイタル
「コラトゥーラのヒロイン達」
ピアノ・木下千代
19日(土) 15時 神戸市教育会館
1000円(前売800円)
★「新春みんおまつり」
20日(日) 13時・17時 ワールド
記念ホール 4000円全席指定
★ラウドネスコンサート
21日(月) 18時半 神戸国際会館
S3000円 A2700円
★真田広之コンサート EVER
LASTING HARMONY
29日(火) 18時半 神戸文化大ホ
ル S3000円 A2700円
★梅沢富美男ショー
29日(火) 14時 18時 神戸国際会
館 S5000円 A3000円
★ウインナ・ワルツの調べ



ショー

★底抜けに楽しいサーカス
本場の味をたっぷり

12月23日(日)・2月12日(火)水曜日
休演 平日11時、13時、15時、日・
祝日10時、12時、14時、16時、宝塚
ファミリーランド内イベントホール
前売りセット券 ロイヤルシート

ウイン・ヨハン・シュトラウス
管弦楽団

30日(火) 18時半 神戸文化大ホ
ル S7000円 S6000円
A5000円 B4000円
C3000円



演劇

★お初天神
出演/園佳也子、正司花江、他

2日(水)・6日(日) 11時 13時半
神戸国際会館 S4500円 A
4000円 B3000円 C2
000円 D1000円
★クラレ子どもの劇場 人形劇
「ねじよんべんたんたい」
5日(土) 13時半 6日(日) 10時半
13時半 神戸文化ホール 12
000円 当日1400円
★人形劇団ブーク公演
「人形日本風土記」
19日(土) 15時 ビックロシアター
2200円高校生まで1700円
当日各料金共200円増

★劇団どろ 土曜劇場
「花の木村と盗人たち」
15日(火) 13時半 16時 兵庫県民
小劇場 3000円 親子500円
★民芸公演「すてくてくてこ」

3000円(2000円)一般席
2200円(1100円)当日券
2700円(1350円)、いずれ
もファミリーランド入園料含む、カ
ッコ内は子ども料金



私がお案内を

わが国で初めてサーカス
が催されたのが一八六四年
以来、サーカスはテントが
けで行われて来た。その通
例を打ち破った「サーカス
シアター」が宝塚にお日見

出演/大滝秀治、日色ともゑ、他

24日(水) 25日(金) 26日(土) 18時 15
分 27日(日) 13時半 神戸文化中
ホール 3000円
★劇団四紀会家族劇場10周年記念
公演「冒険者たち」
26日(火) 14時半 27日(土) 10時 14
時 兵庫県民小劇場 1200円



映画

★市民映画劇場「炎のランナー」
24日(水) 25日(金) 26日(土) 18時 15
分 神戸文化小ホール 500円
★アントニー・ガウディ「上映会」
20日(日) 13時半より5回上映 21
日(月) 22日(火) 18時半 20時 10分
京都教育文化センター 1000円



美術

★兵庫県立近代美術館
兵庫現代美術選抜展

淀井敏夫彫刻展 1/19・2/11
1/5・3/21
森九とデモクラシーの作家たち展
1/17・3/21
★ギャラリさんちか
神戸二紀展30周年記念特別企画展

得。向う10年間、クリスマ
スからお正月にかけて、毎
年サーカスが公演する。

第一回目の今年は、題し

て「アメリカンエンターテ
イメント」アメリカの選り
すぐりのメンバーが素晴し
い空中&猛獣ショーを展開
この冬、サーカスシアタ
ーで「ショー」としてのサ
ーカスが楽しめようである
★サーカスシアターのチケットを10
名様にプレゼント。希望者は葉書に
住所・氏名を明記、神戸っ子編集室
「ショー」係へ。1/15締切

「白と黒による展開」

- ★白と黒による展開 1/24・1/29
★さんちか広場 1/24・1/29
★神戸二紀選抜展 1/24・1/29
★トアシアター 1/6・1/15
★東門画廊 1/11・1/16
山崎恵嗣個展 1/15・1/20
湯沢茂好・原真理二人展 1/22・1/27
山口康二郎企画展 1/29・2/3
★ダイアモンドギャラリー
凡由舎との展 1/4・1/9
桜井節子一人展 1/16・1/21
創元会小品展 1/22・1/27
納健個展 1/29・2/3
★サンバル市民ギャラリー
三木寛宣作品展 1/4・1/9
現洋会展(神戸) 1/11・1/16
辻恵子ラフ習作展 1/18・1/23
第七回墨松・宮腰公展 1/25・1/30
★アートギャラリー タビエス
'84版画「期待の新人作家」大賞展 1/15・1/27
★ギャラリ新光
F・フランゲン エッチング及び
リト版 1/6・1/27
★海文堂ギャラリー
中島由夫作品展 1/15・1/21
★西宮市大谷記念美術館
現代ニュー・ジャランド版画展 1/6・2/17



スワンとオデット

●ふらっしゅ●ばっく●
 あなたの心の奥が
 欲しがっているもの
 『スワンの恋』



左はアラン・ドロン

淀川長治<映画評論家>

あの『プリキの太鼓』(一九七九)のフォルカー・シュレンドルフ監督の一九八三年、フランス・西ドイツ合作の一时间五〇分。

『プリキの太鼓』……この映画のドイツ美術、ドイツ・グロテスクを、シュレンドルフはマルセル・ブルーストの大長篇『失われた時を求めて』の第一篇第二部をとりあげて……こんどは十九世紀末、パリの貴族階級ブルジョワ階級の……けんらん豪華……絹と宝石と夜宴と香水の世界へと、彼の映画美術を移して見せた。

×

このころの音楽ではチャイコフスキー、サン・サーン、ドビュッシー、小説ではモッパッサン、ゾラ、ジイド。電話、活動写真、自動車登場のその十九世紀末期。

×

キヤメラはベレイマン映画のスヴェン・ニクヴィスト、レイ・マルの『プリティ・ベビー』(一九七八)もこのキヤメラマン。

脚色は……『雨のしのび逢い』(ジャンヌ・モローの一九六〇年作)のビーター・ブルック。

美術が……『去年マリエンバートで』(一九六二)のジャック・ソルニエ。

×

これ以上の映画のぜいたくは望めぬマルガレット・メネゴズの製作。

ルネ・クレマン、ルキノ・ヴィスコンティ、ジョゼフ・ロージの監督たちからその企画何年何カ月……ついに『プリキの太鼓』のシュレンドルフに決着の注目作。

×

スワン(ジェレミー・アイアンズ)とはユダヤ人仲買人の息子で社交会の花形。

このシャルル・スワンが……ある宴席でふと見たオデット(オルネラ・ムーティ)に、やがて激しい恋に落ちる。その恋の苦汁、その恋の耽美を描く。十数年後……この映画は、さめた現実で……しめくくる。



オデットとスワン

×
オデットとはバリのドミ・モンド。富豪、貴族、あらゆる男から男の手を渡り、このオデットはバリのぜいたくを吞む。

初めてこのオデットと馬車に乗ったスワンが彼女の胸のカトレアのらの花を指で彼女の胸に落ちぬよう差し入れた、そのときから、スワンの恋はざれごとではなく

なった。

なびくと見せて近づけなく、去るかに見せてスワンに迫る。このオデットの妖美。

スワンの恋は甘美に溺れ、スワンの恋は焼けただれた地獄に落ちる。

×
オデットを求め狂ったスワンが、彼女が一夜とともにしたシャルリュス男爵（アラン・ドロン）を訪れてオデットを意地も見栄もなく返えせと泣きついたとき、スワンはこの男がオデットを汚していなかったことを知った。シャルリュスはジプシーの若き美青年にひめた愛を抱く男色家だったからである。

×
映画『スワンの恋』は、かつてのガルボやポーラ・ネイクリイや、もっと昔のエステル・テイラーというとき、妖美の女優、その恋の火と燃える映画を、いま一度この今日の映画の中に呼び戻そうとする。

×
恋は火と燃え、燃えあがって、灰となるもの。しかし、その火と燃えるその炎熱に身を焼く、あとさきをも見失った、それこそ血迷った狂恋……恋地獄。それこそ恋とやいわん。

いまこの十九世期末の、かつてありし……と振りかえる『恋なる恋』を、今日の映画に染めぬこうとするこの古典。

×
オデットを演じるオルネラ・ムーティは『ふたりだけの恋』（一九七〇）のイタリア女優。

スワンを演じるジェレミー・アイアンズは『フランス軍中尉の女』（一九八〇）のイギリス俳優。

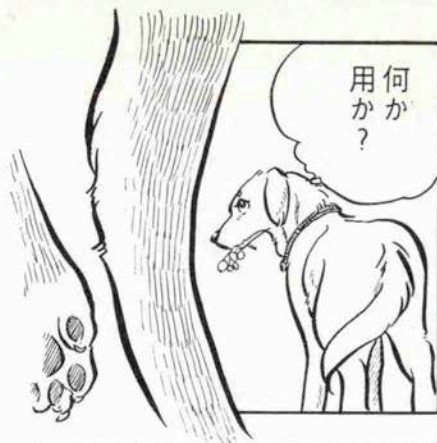
×
ジェフレツリ監督のオペラ映画『椿姫』といい、これといい、さらに時代をさかのぼるモーツァルトを描いた『アマデウス』といい、今、映画はクラシック、その古き美術を、その心のふるさとを、呼び戻さんとする。

■コスモ・ファンタジー

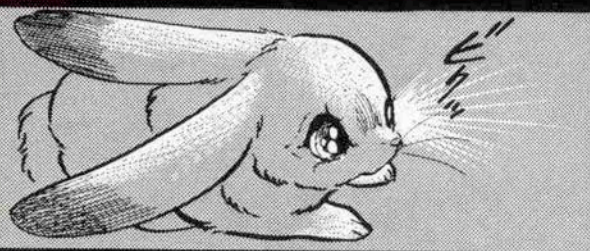
数1000回の明日こそ



第5回
佐藤 晴美







ごめんよ
君を守るなんて
言っておきながら





おまえがいると
彼女が恐がる!!
どっか行けよ!!

もう
オレ
あのウサギにや
手は出さんよ
あれは
ハッピーの
獲物だから—

獲物じゃないっ
何百回
言ったら
わかるんだ

わわかった

わかったよ
でも
ここにいても
いいだろ?
オレ一匹で
さみしかったんだ
たのむよ





求める心

さみしい心

みんな
わかってる

でも
でも
心ではわかっていても
どうにもならない